

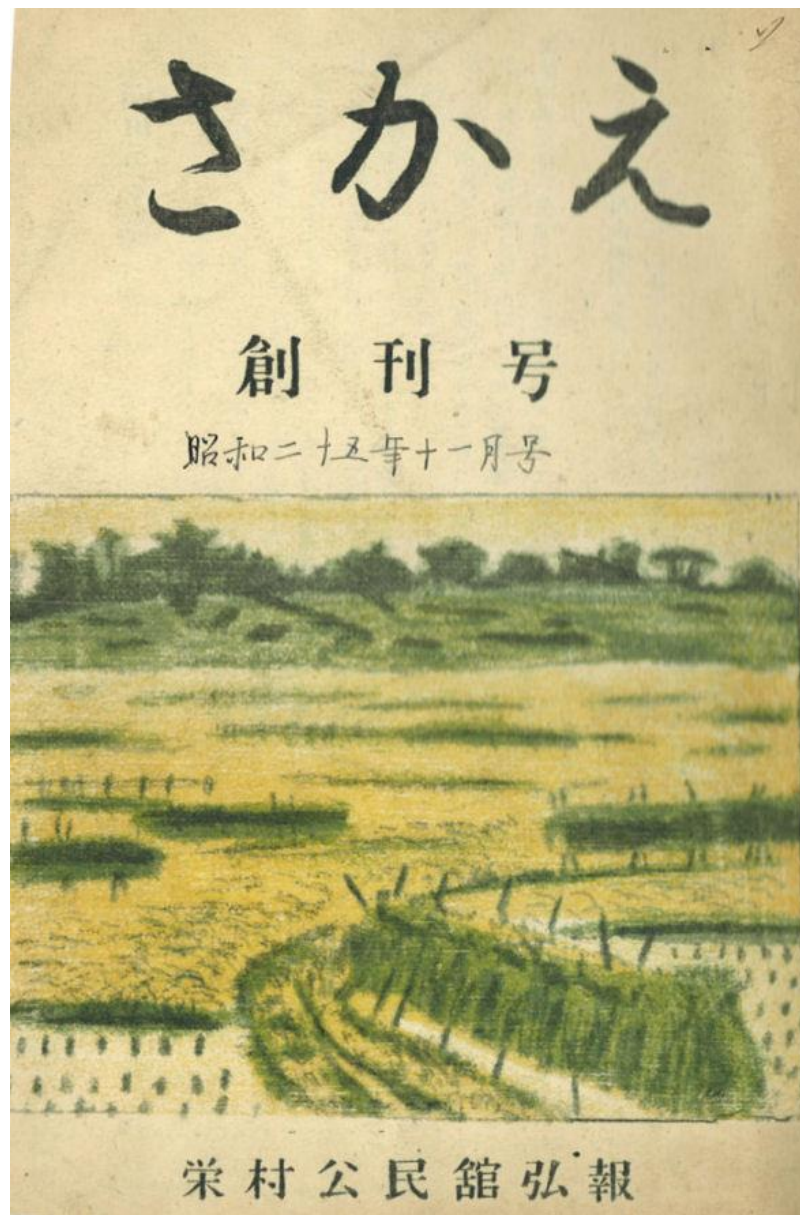
稲田の夕照

— 栄村十景 —

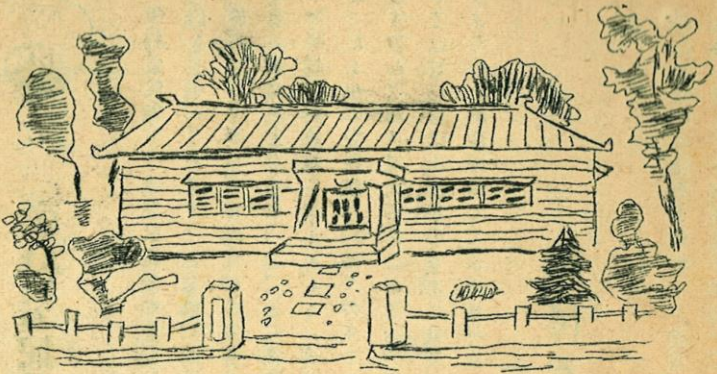
常陸地帯のローカルカラーとでも云はうか。
 榊の木立に囲まれた部落々々を大きく取り巻くやう
 に、展開された肥沃なる水田。たわわに稔つた稲穂の
 うねりは、晩秋の光線を流して静かな、美しさだ。
 村境をくぎるやうに起伏した丘、雑木と赤松と竹が、
 段々畑の上に混然と陰を深めて行く。
 真つ赤な夕焼だ、一瞬、頭上を過ぎて行つた椋鳥の
 一群。あゝ、圧迫も反撥もない平和な静寂感。しかも
 田圃は筑波山の麓まで、かところ深く続いてゐるのだ。

成熟に 向ふ稲原夕焼けて
 ひやう ひやうと飛ぶ椋鳥の一群
 — 月夜 —

目次	
表紙 栄村十景 稲田の夕照	補田正夫
題 字	根本養三
扉 画 讀	大久保月夜
発刊の辞	誌上宿題
知事祝辞	栄村の宗教
出張所長祝辞	自慢話
教育長祝辞	農協ニュース
ことば	保健体育部抱負
村のNo.1	俳句
こぼれ話	大争消息
役場から	商工会再発足意義
はたらく子供を	題名当選発表
短歌	村民の声
紹介	電話室
婦人団体の動き	公民館運営規則
学校通信	原稿募集の定め



資料提供：花開孚夫氏（つくば市金田）
 編集：木村 滋



発刊の言葉

栄村公民館長 飯島吉光

栄村独立公民館の竣工発足を機会に、公民館弘報の発刊せらるるに至りました事は、誠に慶賀に堪えない処でありまして、其健全なる成長を期して止みません。民主主義を徹底し、村内文化の向上と村民一同の親睦を図り、明るく豊かな教養豊かな平和村作り、之が公民館の目的である事は今更申す迄もない處であります。

民主主義と云ふ言葉ほど、終戦後のやはり言葉、寧ろ我々のあこがれの言葉として使はれたものではありません。

然し、云ふは易く行ふは難しとの譬の如く、民主主義実現の彼岸は、尚遠く、我々の努力を要する奥多々あるのであります。

此の時に当り、我々村民の目であり、口であり、耳である弘報発刊せられ、村内縦横の連絡並に村民相互間の修養研究の発表を図る、誠に當を得た所でありまして、充分之を活用して育成するときは、公民館活動の一大推進力となり、民主主義への到達は期して待つべきものがあると確信するものであります。



栄村公民館報発刊に寄す

茨城県知事 友末洋治

栄村公民館が、今回公民館報を発刊することになり、あまねく公民館活動を集録して、文書による啓発と連絡協調とを密にされますことは誠に時宜を得たことと存じます。

栄村は早くから公民館精神に自覚められ村民各位の一致協力によりましてこの実践活動も活発でありまして、繁栄の実績を上げられ、まことに御同慶に堪えないところであります。

公民館が村のセンターとして、今后の明るい民主化に果す役割が如何に大きいかは、今更申すまでもありません。たしかに公民館が村造りの中心となり、政治に、経済に、産業に、文化に、将又慰安等に、実生活向上に裨益するところが甚大であると思ふのであります。従つてこの運営と活動には細心の注意と研究が絶えず払はれなくてはならないと思ふのであります。幸にして栄村公民館が新たな企画を次々と立案せられ、今後益々発展されますように心から期待して止みません。今回の公民館報の発刊に当り、こゝに祝意を表する次第であります。

発刊を祝して

茨城県教育委員会教育長

西野正吉

平和と文化と道義を体现し、世界に於ける最も理想的な新日本を建設するには、何よりも先ず國民自体の教養と道義の向上が先決問題である。これがためには社会教育の普及徹底が要件であつて、その最も重要な具体的手段が公民館である。従つてこれを正しく立派に発展させることが刻下の最大急務である。

幸い栄村に於ては、豊かき明るい文化村を目指す眞明な村民各伍の熱意によつて、若々公民館運動の實踐を挙げ、既に最優秀公民館十傑として県表彰の栄誉を獲得、更に又村民一体の熱望と努力は、縣下にも稀れぬ独立本館を建設、去る九月二日盛大な落成の式典を挙げたのである。

今度公民館の最も重要な仕事の一つである弘報機關として「公民館報」発行の報に携し全村挙げての新しい村づくり運動の熱意に対し、衷心敬意を表するものである。希くは一時的の営みに終らず、継続的発展的に益々内容充実されて、村名の示す通り、公民館運動を通じて彌栄えに栄えることを念願する次第であります。

発刊に際して

茨教委新治出張所長

宮崎正朝

今度栄村公民館の機関誌「さかえ」の誕生をみましたことは、誠に喜ばしく心から御祝を申し上げます。先般公民館の独立が完成し、栄村文化運動の中心母胎が確立されましたことは、皆様の村の興隆途上の一偉力として慶賀に堪えなむと存じます。謂はば公民館は村自体の和樂の場であり、とり火を焚いて集う、和やかな圍炉裡端であります。火に手をかざして顔をほてらせながら、語り合ふ睦言の間から、村の生活改善の方途も、レクリエーションのプログラムも、或はまた産業復興の施策、自治発展の理想も生み出されることでありませう。他村が羨望して止まぬところも亦宜なりと存じます。然しながら私はこの村の動く姿をキマツチして、自分の姿をその中に見出し、全体の中の個としての自分を認識して行くためには、唯に公民施設そののみでは何かしら物足りない淋しさを持つて居つたのでありましたが、今度の機関誌の誕生を聞いて衷心から力強さを感じました。

この機関誌は皆さんの懐中鏡であります。皆さんの理想も實踐も、或は余暇の一時を詩藝に慰める姿も、常に映し出してくれる姿とでありませう。

皆さん生れたならには皆さんの温い手で大きく立派なものに育てあげて下さい。

是非誦むごめの機関誌としてはかりでなく語る本であり、書く機関誌として、十分の御活用と御発展とを祈りして止みません。

ことば

栄小 岡田 新

「はい」という明るい返事、「おはよう御座居ます」という朗らかな挨拶、皆様はお子様方に常に、期待されることと思えます。私達も子供達が何時、如何なる場合に於ても、「はい」と「いいえ」がはつきりと言っているよう子供に仕上げたいと希っています。そして美しい言葉で、思想感情を表現し合えたら、どんなにか明るい世の中になることぞせう。

「九い即ち切りようで四角、ものも言いようで角が立つ」とは言いふるされた俚語ですが、ことばの乱れは心の乱れであります。一国の言語がたばその民族もたばとまで言われています。

今静かに子供達の言語生活を振り返つて見る時、多くは二重の言語生活ではないでしょうか。「ぼく」「わたし」「きみ」「あなた」「おはようございます」

「いただきます」「お父さんお母さんおやすみなさい」——は学校語であり、「ろん」「おれ」「おめえ」——は日用語でしょう。これを学校語に統一させるには、實に社会の皆様の熱心な御協力がなければなりません。それにはまず社会の大人が範を示さねばなりません。例えば、家庭に於て、お父さんがお母さんをお母さんと呼ぶことば、子供をお母さんと呼ぶことば、子供を親の所有物と考へるところから呼び捨てにします。自分の子供にさんをつけて呼んだら親の権威にかかわると考へる方は居ないでしょう。「○○雨戸をしめる」というよりは、「○○さん雨戸をしめておくれへしめてちょうだい」といつたら、直ぐに子供の行動に明らかになちがいが認められます。戦争はすでに放棄した筈です。命令下達は、はやりません。平和日本の建設は先づ、身近な此の辺からではないでしょうか。



村のNOI(二)

高齢者の巻

村のNo.1として副刊号を飾るに相応しい最高齢者は、中

根部落の、小林岩吉翁その人である。幼名を周一郎と稱し、萬延元年九月十五日生れで、現在、満九〇才と一ヶ月・生家は松塚の宮本角右工門である。九〇才まで生きた実母の生家は、当の小林家であつて、即ち翁は、重縁の形で入婿された訳である。専くるさんは、八十四才で既に亡くなつたが、現在子孫の数は、子二人(男)、孫八人、曾孫十二人、曾々孫一人で、合計二十三人の直系血族が翁を取りまいてゐる。長男の徳一郎氏すら既に七十三才であるのに、現在の翁の健康振りには舌を巻かざるを得ない。以下直接翁に面会して尋ねたあらましを紹介して見やう。

一生涯の中に、一番嬉しかつたことは、曾孫の結婚式の時で、自分が丁度八十八才の祝ひの年であつた。又最も悲しいと思つた事は今度の戦争が敗れたあの日

であつたこと。趣味としては格別ないが、青年時代から信仰が好きで、天理教の信者となり、布教も相當やつた時代がある。一生を通して夢という夢を恐らく見たことのない翁が、若い頃たつた一度、富士講信者として夢じらしを受けた物語は、後日事案と符合した負、不思議な出来事であつた。

一生百姓を業としてくらして来たが、仕事の好き嫌ひは全然なかつたと云ふ。特技としては俄かつぎで、誰にも負けないあらゆる曲芸をやつてのけた。九〇才の今にさい、眼鏡をかけた新聞を読み、耳も全然遠くならない。翁の健康法や養生振りが又羨つてゐる。

先づ朝起きて洗面する時、心ず頭を冷水で冷して摩擦する。それから竹やぶの竹につかまつて深呼吸する次に氏神様を礼拝することを忘れない。食事が終ると膳に向つて「御馳走様」と必ず唱へる。以上が三百六十五日、子供時代から今日まで一日も缺かしたことはない日課である。八十を留えてから上の齒がかけた爲止むなく入歯した翁は、怪我で一回醫者にかかつた事、末だに薬の味を知らないと云ふ。その食餌法をた本ねると、食物は常に腹八分、塩からい物は大嫌ひで

砂糖分もあまり好かない。又間食は何十年となく絶對しない。酒は禁酒一天張りで、煙草は明治二十年正月二十三日以来(その年居宅を新築し、爲に禁煙三ヶ年の願を掛け、当月二十三夜にはお月様を立ち待ちしたのが動機)六十四才の年まで吸はなかつた。翁の意志の強さが判る。恐らくは二百年も古い事まで識つてゐるといふ翁は、幼時の天狗争動をはじめ、大小の昔話まで、その記憶力は今以て少しも減退してゐない。九十九才まで生きた先祖があるといふ翁は、次のやうに自信のほどを語つて呉れた。生れた年が庚申で、生れた日が申の日である自分は、来るべき甲午年即ち六年市の九十七才までは必ず生きて見せる。しかし欲を云へば百十五まで生きられると思ふが、中途で腰を悪くしたから、割引しても百までは生きたいと云ふ。真白なひげ面にしわをよせながら、朗らかに笑ひ乍らの自慢話である。最後に、来る十一日の参議員と教育委員の投票に行きますかとたづねたところ「あ、行きますとも」と云ふ元氣な返答には實際敬服せざるを得なかつた。翁は、真実、村の生字引であり、尊い宝物の一つである。(十一月廿二日大久保記)

こぼれ話

よい子の表彰

公民館が建設されるまでには、沢山の村民が、いろいろの面で相當の苦勞と努力を払つた事は云ふまでも無い。青年会の地均らしの奉仕などもその一つであつた。

愈々館が竣工した。九月二日に落成して開館したもの。種々の都合で常勤職員も小使さんもあるないその内は、速應なく荒れて行く。既に雑草は花も咲こうし、糞もみのらうとしてゐる。

毎日の通学の行き歸り、その有様に目をつけたのが中根部落の女生徒十二人であつた。期せずして、あの草を探らうといふ申し合せがお互に盛り上つて、ある日曜日の一日、感心なよい子たちは草取り清掃をしたのであつた。学校にも、役場にも知らさないでやつたその誇らない奮心と、美しい奉仕を聞いた村長さんは大変喜んで、早速、御褒美の鉛筆と消ゴムを贈つて、表彰した(生徒氏名省略)

役場から

納税の御協力願ひ

皆様既に御承知の様に、税金が大変に變りまして、村税と国税県税とがはつきりと区別せらるる事に成りました。

村税は、固定資産税、住民税、自転車税、荷車税の外、電気ガス税、木材取引税、博覧人税等があります。税法の国会通過が離れた関係上、今年の納税は下半期に重なり、皆様に於かれても大変御苦勞の事と存じて居ります。今迄の考へでしたれば、村税は国税県税と違つて多少遅れても村内の事だから何とかなるだろうと云ふ様に、兎角輕視され勝であつたのですが、今度からは非常に嚴格に規則が出来たのであります。それは

第一、納期税額の算出規準は法律に依つて決定せられ村会等に於て勝手に變更出来ない。
第二、納期後一定の期間経過すれば、必ず督促手続き

をしなければならず、その期間を経過する時は、日歩四錢の延滞金を又督促状の納期限を過ぎると日歩四錢の延滞加算金を附けること。
第三、尚それでも納付されない時は、滞納處分に附すること。

であります。苦し村で以上の手続きを怠る時は、困り色々の制裁を受けるのであります。

村の歳入は村税と国よりの交付金（之を平衡交付金と云ふ）より成つて居りまして、若し村で滞納整理をしない時は、此の平衡交付金を減額されるのです。

それですから一人の滞納はその人の税金が村に入らないばかりでなく、国よりの交付金の減額となり二重の損失となるのです。以上の様ひ取ですから納税については特に御協力下さいます様御願ひ致します。村に於きましても、皆様の大切な税金です。特に便益を慎重にし、一般公共施設の改善に最善をつくして行く覚悟で居ります。猶、税金の使ひ道については、十一月中旬に開かれる「追加更正予算村会」で決められるから、詳しく数字的に御しらせ致します。

村の衛生だより

● 牛の流感は十月廿一日現在で四十二頭に及んだが、何れも四、五日位で全治してゐる。 近く狂犬病予防注射があるが、現在届出の畜犬は一大八匹である。松塚の沼尻三智彦氏が今回獣医師を雇業した。

● 目下、眼の保険週間、栄養週間、清掃週間、秋の清潔法実施と共に、ポスターその他で宣傳普及してゐる。その他、学童六十七名のツバルクリン注射、百日咳予防接種一九〇名、ジフテリア予防接種一〇四名、乳児五六名の健康診断等も施行される。

● 本年は伝染病はなかつたが、これからは寒さに向つて、発疹チブスや感冒のはやる時節になるから、ネズミやシラミの退治及び食品衛生、環境衛生、学校給食の衛生注意などが勵行されることになつてゐる。

道路について

一、村道改修工事として、島古末より古末の入口に達する区間、四四三米、幅員四米が、工費三十三万円を

十一月下旬より着工、十二月中旬完成予定。

二、藤沢駅から荒川沖に通ずる道路が十月二十七日の現地視察の結果、県道に編入されて、県に移管されることになった。本村の関係道路は、栄利橋から土器屋を経て県道を横切り、役場西側を抜けて、金田の中央につき当り、それから西へ右折して西坪に至り、更に左折して西坪前を通り、花室に通ずる線路である。完成の時は、南北幹線道路として、甚大に利便がもたらされることとせう。

公民館工事報告口抜粹

一、着工 五月五日 竣工 八月十八日
二、敷地 二八九坪 六合八分
三、建築費 大拾壹萬四千元 百七拾貳円 内訳左表の通り

系村公民館建設費	
金額	摘要
117,932	敷地買収費
60	登記料
2,300	青写真及設計代
427,000	工事請負金
4,282	隔離病舎解体費
2,828	敷地整地費
5,000	上棟式費(祝金)
420	(餘備代)
2,350	形不場及電話室製作費
24,000	塗装料
10,026	電灯新設費
20,800	門柱及門欄建設費
15	釘代
3,159	板垣製作費
400	土地使用料
614,372	計

はたらく子供を

栄中 市村 芳男

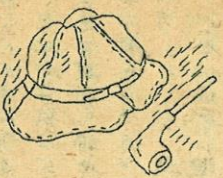
日曜日、放課後村を廻つてみると、なすことなく自転車に乗り又は大きいからだで、パーガッチに予念がない子供の群を見受ける。遊び施設に乏しい農村の遊びの姿であるが大きいからだでなすことなくぐらぐらしているのは、みにくいものだ。私が本村に赴任して二年はなりましたが美しい村で何も申すことはないのですが欲を申すならば子供達の作業の態度が小々悪いように思う。ねほり強さが足りない様に思はれる。しごとと完遂には意志が大切で、家庭でこの貞留意識されて規則的な家事のお手伝いをさせては如何でしょう。はたらく者の泥まみれの姿、汗を流すこと、等しいやしむ心が子供心に芽生えては大変です。自分は小学二年生の夏休に始めて陸稲の草取りを手伝はせられたから教員になるまで農事の手伝いをした。真夏の草取りは苦しかった。然し、母の語に父の昔話につりこまれて終日、畑から離れなかつた。夕日を浴びて自分の仕上げた田畑を腰骨伸して眺める気持のよさ、母の

慰の言葉の甘い香り、今も忘れられない。こうした生活が今日の自分の生活にどれ程役立ってくれているか分らない。親と共にはたらくことが礎の上で重大である。親の仕事を理解させる。生涯のよるこびを味はせる。労働の尊さを観念でなく体得に訴える。意志の力を持たせる。こうした目標を持つて唯單に子供の労働力を当てにするのでなく、子供を働かせることが子供の人生に尊いものを與えることになると思う。私は親と共に働いた幼い日が限りなくなつかしい。

短歌 十月歌会詠草抄

おそまきの番麦すでに咲く 水跡の相馬驥土に秋陽し
み照る 大久保 月夜
空くじ百万円が当たらラビット買ふと子は不馬こく
大久保 ぎくの
夕納屋に明日賣られ行く流牛の飼料きりつつ吾落ちつ
かす 桜井 霞峯
松山を雨にぬれつつくりまし眼に盛り咲く蕎麦の白
花 大山 忠雄

力作「蓮池」



美術の秋を飾る絢爛たる 絵巻
即ち、目下、上野の都美術館に

九回目の入選の栄冠をかち得た、我等の最も敬愛する補田画伯が、如何に運ましい力闘をされたか、その創作に就ての概要を左に御紹介しませう。

画材を、吉瀬の蓮池に求めた作者は、相を練ること三ヶ月。愈々制作に執りかかつたのは、残暑酷しい九月の始めからで、實際完成したのは十月の下旬である。完成した画面は、縦横、五尺七寸四方の大絹地。運搬にはトラックを買ひ切つて直接上京、其日は上野山下の寺院に仮泊し、翌十月十四日美術館に搬入出品されたのである。制作費裏に、約三万円を要したこの大作が、如何に尊い芸術良心の結晶であるか、うなづかれる事であろう。詭くまでも謙虚な画伯は、作意のあらましと、感想を次のやうに語つてゐる。

「昨年作品も、画材はやはり蓮であつたにも拘ら

ず。今年も又、同じ蓮に取材を求めた事に就て、友人や先輩から、種々の苦言を頂いたが、自分は感察の角度を替へ、感激を新しくして、今度は全然花を省き、葉と陰影のみを対象として、決然筆を執つた。色彩は青と黒と白(銀)のみに限定して、味の辛さを表現することに苦心した結果、出来上りについては、却つて良かったと云ふ批評を受けることが出来た。でも制作日数が足らなかつた事と、中途で健康を害した爲に、十二分に力を注ぎ得なかつたのが憾みであつた」と、

村の女王「新型」すず

農協では、今度、蔬菜の輸送力を強化する爲、従来のにっサンの代りに、デゼルエンジン五屯車の「いすず」を購入した。車は、一九五〇年新型と稱して、總ての真がニーススタイルで、常時積載量は、白菜で、約一四〇〇。費である。色は、ヘッドがクリームで、ボディがチヨコレート、東京往復五時間といふ、(車)のマークに風を切つて走る風象たるスピードアップは、必ずや、組合員の期待を満たしてくれる事であろう。

走れ、走れ、走れ、ナンバー「茨九五三」よ、走れ。

婦人団体の動き

栄村婦人会

昭和二十三年三月十日、本会が結成されてより、婦人の教養を高めると共に、会員の協力に俟つて、民生的で健全な村をつくり上げることが目的として歩みを続けること約三年半、その間僅かながらも理想に向つて上り坂の傾向をとりつつあることは、村の皆様の御援助の賜と感謝致して居ります。その婦人会も最近は、金田支部の生活改善座談会をはじめ、九月八日には、映画会、運動会についての役員会、同十九日には、公民館に於て、共同募金、運動会等の議題で意見がかわされました。この募金も既に相当額に上つたことでせうし、目標額五一、五〇円を突破することが出来ませう。又運動会は秋晴れの日に予定されている。栄小中学校のそれに参加し、私達婦人もレクリエーション活動の一つとして行くことに決定しました。そしてその際、長老の方にもいらつしていただき、御高説を伺ひ、慰安に努めたいと思つて居ります。その他、同二

十六日の郡連絡会へ事業部長片岡たま氏が出席され、二十八日には毛ボロ、運動会必要品購入の件につき、役員会が開かれました。又十月初め、松塚支部で、永らく御病氣でお仕事も休まれて居られる方へ、お互に助けあひの気持で、支部役員が稲刈の奉仕を行ったことがありました。以上簡単に、本会最近の情勢を述べてみましたが、これら全てのことと言ふまでもなく、單なる形式に止まらず、名實共に健全なものにする為、確実な歩みをもつて進んで行きたいと思つて居ります。会の発展は村の発展と言ふことが出来ませう。会員の努力に對して、皆様の知えざる御支援を御願ひ致します。

十一月は二つの選挙があります

参議員、午前七時、上境公会堂
 教育委員、午後六時、場所 栄村公民館、吉瀬公会堂

◇ 棄権するとは危険な話

◇ 国の政治はおらが手で

皆さんお忘れなく

学校通信

教場を各地に求めて

秋の修学旅行

幼な心に希望の胸をはずませて、各地への修学旅行は各学級別に実施し幾多の成果を収めて無事終了した。九月五、六日の二日間中学校三年生は日光方面に向いて湯元に一泊し、又十月十日には小学校六年生は日本の工業通信ラヂオ新聞などの学習の爲東京の朝日新聞社放送局鉄道博物館動物園等を見学、続いて十四日は四年生の筑波登山を行へ測候所を尋ねて気象観測或は十六日五年生は県の産業交通の研究に日立水戸方面に走つて元山溶鉱炉電線工場県庁等の見学をした。学校設計画が事前に行はれた爲円滑な見学と充分な説明とがあつて目的を達し、又雑時間が多かつたので子供たちがむだ使えをしなかつた事ほど好成绩を収めた。

事	九月六日 国語講習(小)(県今泉主事講習指導)
行	十月十日 西郡理国語講習会(栄ササ主事実施指導)
同日	日県中学校陸上競技会に副代表として 名出場
同日	日子供会運営研究会(於赤井市警署) 出席

PTA図書購入寄附金 七万円を突破す!

先に募集した図書購入資金は「可愛い子供」の爲なら」と続々と集まり古米大松塚土器屋中根だけで七万円を突破し、その内中学校は既に三万円の図書を購入し小学校に於ても十九日のPTA会合にて大百科事典等三万円の購入を決定し、本運動が教育上に絶大なる貢献をしており村民の涙ぐましい理解ある協力は斯界の感謝の無負となつてゐる。

家庭の皆様へ

一 学校を顧に未て下さい。毎月の第一水曜日の参観日は勿論いつでも来て子供達の学習運動作業の実際を見て受持教師といろいろのお話し合えして下さい。
 二 子供の正しい姿をつかんで下さい。子供の言葉服装態度持物読物交友映画等を通し眞の姿をつかみ明るくすなおな子を育成して下さい。
 三 子供に相応な家事の手伝をさせて下さい。
 四 学校へむだ金を持たないで下さい。集金袋以外には集金をいたしませんから余分な金は絶対に持たせないで下さい。

栄村の宗教

横山 秀鶴

その殆んどが、世帯を主とした仏教信仰であるが、個人的には実任教、天理教、霊友会、などを信仰してゐるものもある。仏教信仰のなかにも観音信仰の、昔門書や詠歌和讃講の団もあり曾つては村の知識層によつて組織された饗若会があつて、これは大いに嚆望されたが、いまは自然消滅の形になつてゐる。所謂元の神社神道としては八坂、鹿島、神明等の神社が部落毎に所在してゐる。佛教は新義真言宗豊山派が九割を占め、残る一割は淨土時宗等の念仏宗である。また仏教寺院の団体として米佛教会があり年番会長制により運営され英靈祭、民生祀鉢等に協力しており、また東福寺住職個人施設として茨城県認可の栄幼稚園があり、隣村藤沢村にもその施設を拡充してゐる。また季節的施設として日輪寺の英教珠算塾や心福寺の習字舞踊等の個人教授も教へられる。宗派別及団体名主管氏名等を掲記すれば(新義真言宗豊山派)東福寺橋本義弘、日輪寺菊地精秀、心福寺小池海貞、慈恩寺岡田啓阿、

時宗安養寺木村善誠(淨土宗) 證誠寺加藤昭辰、願照寺横山秀暢(神道実任教) 柴田正守、(神道天理教) 本橋俊二(神社) 八坂神社、鹿島神社、神明宮其他九社主智者皆本廣次等の諸氏である。

自慢話

戸数は約六七〇戸(内農家約四八〇戸)人口が、三三六一人。デツかくもなけれは、ちいぢやくもない、い、あんばいといふのが俺が村さ。ところて、どう考へてもヤヨツとするのは醫者の多い事だ。内科婦人科外科関係が三人、眼科を兼ねた女医一人、齒科医専門が一人。それに獸医師が一人。で大抵の疾病では人畜共に困りは取らない。それから産婆さんが二人とぎてゐるから、是また重宝すぎるじやないか。そうかと云つても病人だらけのわけじやない。近隣の村々の人たちの人助けの存在なんだから、恥かしくはない筈だ。県内には、まあだ無医村が幾つもあるといふのに、農村では県下一の医者様村として自慢したくなるのも無理かねいと言ふものさ。

農協ニュース

たのしみ貯金

経済自立貯蓄計画の一環として、七月十五日より、九月三十日まで、展開された、たのしみ定期貯金は、二百萬の目標を遂に達成し、郡下一の成績を収めた。組合の運営磐石たるものあり、因みに、柚せんの結果一等の福神を得た若左記の四名である
根本元一、中島彌兵衛、塚本亨、露久保格二郎

殿粉工場操業開始

本月も亦、殿粉工場が、十月下旬より操業開始することになった。原料蒔の入手に關しては、特に村内生産者の御協力を望む所である。目下買入価格の等級別見透しは次のやうである。

- 志等 三〇〇円 — 農一、二、三号 紅赤等
- 武等 二五〇円 — 藤園、関本三号等
- 参等 二三〇円 — 飯郷、沖繩等
- 四等 二〇〇円 — 茨一

出資増口に就て

去る五月の通常總會に於て決議された出資金七拾五萬圓、一五〇〇〇の増口運動は、其後、熱烈なる協力贊助に依りあと一息の好成绩が示されてゐる。現在の概況は、目標達成部落は上郷、大上、大下、金田、古来の諸組合で、残る吉瀬その他はほぼ完了に近い域に達してゐる。完全消化を望んで止まない處である。

白菜の荷造と検査規格

一、個別包装荷の規格

種類	品名	検査率	一梱包内重量(個数)
葉	葉	葉菜及び葉豆其他 検査率(10/15以上)	6個物入 8ヶ以下
根	根	全上 1/17 500g以上	9個 — 12個
根	根	全上 〃 400g以上	13個 — 15個
根	根	全上 〃 300g以上	16個 — 20個
根	根	不良品、小根等	

二、規定の荷札、標紙、編號、竹箆を使用する事





保健体育部の抱負

福田 久

昔から「健全な精神の健全な肉体に宿る」と言われて居る様に、吾人常に健康に注意し、日常運動をして身体をつくり、将来の日本をになつていかなければならない責任があると思ひます。この意味に於ても吾人は健康な肉体をつくらなければならぬ。又家庭に病人が出来るとなるとなく家内中沈みがちになり、その上一年計画の予算が不足すると云ふことになり得ます。

例をあげれば色々ありますが、それは号左おつて書く事にして、創刊号では健全な肉体をつくりと声をおして叫ぶものです。次に色々の部をつくりたいのですが、とりあはず、競技部、野球部、卓球部、庭球部、にして、将来は水泳部と、スポーツ素道を是非つくりたいと思ひます。

次号から農村(特に栄村について)保健について書きたいと思ひます。

近 詠

永田新

肌寒き公民館の夜雨かな
夜の雨身に入む程にぬれそげち
羽根つけて心明るき今秋の秋
小春日の縁に仔猫はふざ つかれ
襲る世に愛らぬ月の色さやか

創刊に寄せて

酒井 雪花

菊一輪開きぞめしといふばかり
日燦々人思ひく菊に付つ
一鉢の菊おき住居小ぎれいに
再会は難し名残りは鶏頭にも
妓のかくれ誦むお神籤や秋桜

紅葉

霞津 男

吾が背子に着せばやと思ふ山錦
庭紅葉魁して飛び交ふ赤とんぼ

人事消息

(自九月一日) 戸籍課
至十月二十日

出生の部

出生日	氏名	大守	父母との続柄
九、二	鈴木多美子	松塚	重之、恒子 長女
九、三	飯島忠夫	土器屋	忠之助、せん 長女
八、三	根本 茂	松塚	森夫、美代子 長女

B

八、三	再初光り子	金田	大助、国子 長女
九、二八	横倉 博	中板	菊一、さく 二男
九、三〇	藤江十代美	大	常吉、徳子 二女
九、一八	高野洋子	横所	常雄、てる 二女
九、二九	酒井裕治	上境	昭、まつ 長男
九、二	酒井とさ子	〃	栄吉、静江 長女

死亡の部

死亡日	氏名	年令	大守	筆頭者との続柄
八、二八	藤沢定男	三七	古来	勝三郎 二男
九、五	中島さよ	二九	金田	亡後三郎 三女
八、二六	沼野光行	二九	〃	辰雄 二男
九、一八	鈴木鶴吉	六四	松塚	本人

婚姻の部

婚姻日	氏名	大守	配偶者氏名
八、二七	飯島さだ	八三	大
九、二〇	高野洋子	〇五	横所 常雄 二女
九、三	根本 茂	八九	吉原 嘉助 養母
九、一五	平富さた	八六	中根 文之助 母
九、四	佐藤ひで	四五	金田 賢 妻

(配偶者氏名)

佐候 悦子 夫	白根 正栄	土積市貞 錫町へ
宮本 義雄 妻	巧削 和美	土積市大守 矢作より
飯島 謙助 妻	小島 カネ	斗利出村 町宮より
酒井 はま 夫	石崎 敏之助	行方 郵政村へ
本橋 正美 妻	寺田 つや	古来より
中島 常雄 妻	桜井 百合子	筑波郡小野川村へ

誌上宿題(前)

「問題」最近急激に
野原が増えたが、
エビガニとの関係
ありや否や
○答案は弘報係まで
○解答は次号誌上で

一〇一・国勢調査実施

- 一〇四・農調委協賛会
- 一〇二・農調委調査委員会
- 一〇四・西郡村長会
- 一〇八・国勢調査西郡互済会
- 一〇八・民生委員会

商工會再発足の意義

猪俣寅吉

我が住む郷、栄村よ、何と云ふ平和な豊かな郷土の呼稱せう。私達の祖先は、時代の先覚として後世の爲に、栄えと稱えてくれた此の名に叛いてはならない。常に誠んで守の如しと自慢の一つだと同時に、本當に栄えさせねばならぬ義務がある。幸に村長を中心にして、村の指導者に人を得た事は私達商工業者として此上の幸はありません。

私達も名々の義務を痛じて、村の文化と繁栄の爲め、片棒を担ぎたいと希つて居ります。願はれは商工会も明治四十年に栄村商業組合として発足後、商工会と改稱すばらしき繁栄を見だが、不幸な戦争のため、商業報告会となり、戦時統制に依り全く喘息、終戦后再び昔の中根前がへらんと、現在の商工会として再発足、致しました。だが、商工会の使命は、利潤追求に依つて活きる方法を採らず、商道徳を重んじ、常に顧客に良品と

親を賣り、戦前の繁栄を再び取り出すべく努力し、衆の村に恥じざる運営を致したいと是れが私達の希望であります。

題名当選発表

「さかえは、弘報委員会に於て、慎重審査の結果、その音は、本村の固有名詞「栄」に通じ、字義は、「亦栄えゆく」ところの、生成発展の姿を如実に表現するものであつて、公民館弘報にも相応しい題名として決定したものであります。村民の皆様、挙つて愛読されんことを期待致します。

徳応募数は五十一名、種類は四十一種の多数の中で「さかえ」は左記四名の方が同一応募されました爲、それぞれ賞金を差し上げることになりました。
酒井雪花(上境) 飯家博子(土器屋)
岩瀬あい子(金田) 松本富子(土器屋)

村民の声

時間を守る

K.S生

「時は金なり」といふ格言そのものは古いが、その意義は最も新しい。時間を守つて始めて文化を口に出来る事が出来るのではなからうか。公民館が生れた以上先づ第一に啓蒙実現したいのは時間の励行である。改善の方法は種々あらうが、てつとり早い一つとして、時間をよく守る人を表彰することも無意味ではあるまい。御一考を乞ふ。

国旗掲揚

飯島生

日本は、たしかに戦争に負けた。と云つても国旗のせいではない筈だ。占領下の国民とは謂ひ、日の丸を立てることを認められた我々は、喜んで掲揚すべきではないか。国を埋めるほどあつた筈の国旗が無いといふ理由は成り立たない、我々が連合国のとりになつてゐることよりも、心そのものが、動く、群衆心理の

捕虜になつてゐる愚かさを考へると泣きどころになる。早く悪夢からぬけ出して、溜く栄村を、日の九で埋めやうではないか。

はねつるべの排斥

丸天子

今年も千態だ。それ水汲みだ。はねつるべだ。鼠車もい、が永もちしない。発動機ならチヨベたらだが、井戸が出ない、結局米がとれないで、供出が重い。こんなことを毎年繰り返してゐる我々百姓は、仲々豪傑のやうで、実は、井戸の中の蛙より、ボナマシばのである。

栄村が現在の野菜を、どこまでも発展させるためには春及夏季に於ける豊富な労力を待たなければならぬ。そのためには、何と云つても水利設備を基本とする農地の改良ではないか。小野川村の村民が霞浦の水で洗濯が出来たのに、何故に、栄村に住んでゐる我々が汲井戸で取引を洗つてゐなければならぬのか。自力だけでは到底及ばないとすればそこに団結の力と方途が発見されて然るべきではないだらうか。五年十年で飛躍できる百姓ではないのだ。さあ絆巻を締め直せ。